

# 上下水道事業におけるアセットマネジメントの導入

## 日本水工設計株式会社

東京支社 アセットマネジメント推進室

URL <http://www.n-suiko.co.jp>

☎ 03-3534-5529

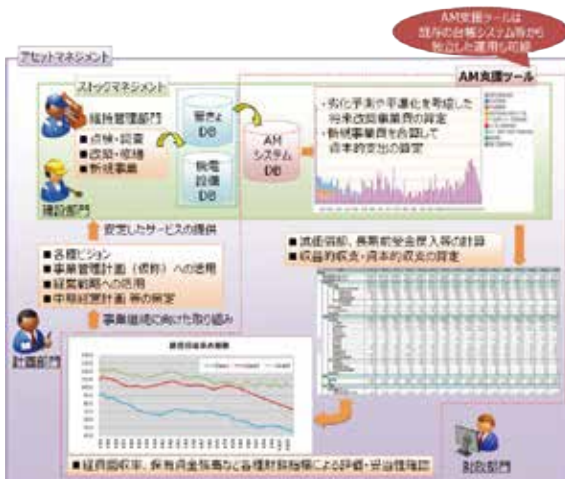
✉ [k-magome@n-suiko.co.jp](mailto:k-magome@n-suiko.co.jp)

## 持続可能な事業の実現を目指して

上下水道事業においては、資産の数や点検・修繕時期、改築時期、また、今後必要な事業費を把握する必要があります。併せて急激な人口減少に対し、今後の収支見通しや技術継承を含めた職員数の確保などの課題を解決していかなければいけません。

日本水工設計では、これらの課題を解決するために、人・モノ・カネ・情報を一体的に管理するアセットマネジメントを活用し、持続可能な上下水道事業の実現を目指します。

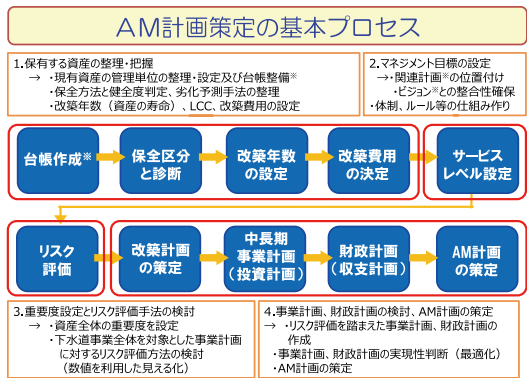
日本水工設計は、ISO55001の認証を取得しています。



※AssetMan®は日本水工設計の登録商標です。

## アセットマネジメント計画策定

自治体様で保有されている既存情報を活用したコンサルティングにより、実情に合わせたアセットマネジメント（AM）計画の策定をサポートします。



### (1) 資産情報、改築・点検・修繕時期の把握

大量の資産情報データや維持管理情報を用いて、AM計画を策定・実行していくためには、上下水道事業に関連する全ての部署が参画し、職員が同じ情報を見ながら同じテーブルで議論できるしくみを構築する必要があります。自社開発したアセットマネジメント支援ツール「AssetMan®」は、様々な情報をデータ化し、一元管理することを可能とします。

### (2) 将来事業費の把握

リスク評価を含めた個々の事業の優先順位付けと予算制約のバランスを検討するとともに、全体の改築需要が把握できる期間（100年間程度を推奨）での中長期事業計画の策定を進めていくことが有効です。

### (3) 人口減少に対する将来収支見通しの把握

これからの上下水道事業は、中長期事業計画と財政計画の連動により、将来収支見通しを把握し、事業費と財政状況のバランスを考慮した経営を図っていく必要があります。また、経営指標を活用した定量評価により、事業の運営状況を見える化します。

### (4) AM計画の最適化を目指した運用

資産の状態評価における劣化予測、サービスレベル項目、サービスレベル目標値、リスク評価結果については、運用においてAM支援ツールのデータベースに蓄積し、社会的背景等の要因を勘案しながらAM計画へのフィードバックを行います。

今後、業務内容が多様化していく中で、より一層の業務効率化や情報共有化を推進することが求められます。日常の実務でAMを実践するために、部門毎の業務工程を整理し、各種データの蓄積・共有化等、運用までを含めた新たなプロセスの構築についても支援していきます。